

目的とねらい

漢字の成り立ちから始まり、さまざまな要素を学んでいきたいと思います。
今年度は漢字の基礎を学んだ後に「成り立ちとつながり」に焦点を当て、「形・音・義(意味)」が互いに密接な関係をもつ「漢字マンダラ」の世界を探って行こうと思います。

会場

河原町学舎

定員

50名

受講料

11,000円（別途；テキスト代 1,500円程度）

講師

久保 裕之（漢字教育士）
立命館大学白川記念東洋文化研究所（文化事業担当）

日程

全8回 第2木曜日
10:00～12:00



（日程等は一部変更になる場合があります）

①	漢字の歴史と基本 「古代文字練習シート」を書きながら、漢字の起源と文字の形の移り変わりを学びます。また漢字の三要素と呼ばれる「形・音・義」について学びます。	4/10（木）
②	成り立ちとつながりで学ぶ漢字① 人体編 「鬼・異・魂」（人の死後）「共・具・兵」（両手の形）「止・歩・企」（足の形など、全身や体のパーツからできた漢字を学びます。	5/8（木）
③	成り立ちとつながりで学ぶ漢字② 自然編 「水・永・派」（水の流れ）「暮・墓・漠」（草原に沈む太陽）「虹・風・空」（空に風を起こす竜）など、自然の様子や自然に対する考え方からできた漢字を学びます。	6/12（木）
④	成り立ちとつながりで学ぶ漢字③ 祈り編 「祭・察・際」（神へのお供え）「令・命・鈴」（神の言葉を伺う）「至・室・屋」（葬儀の様子）など、神や祖先に対する信仰からできた漢字を学びます。	7/10（木）
⑤	成り立ちとつながりで学ぶ漢字④ 人事編 「系・係・孫」（人のつながり）「年・委・季」（実りへの感謝の祭）「責・積・績」（納税のいるし）など、人の営みからできた漢字を学びます。	9/11（木）
⑥	成り立ちとつながりで学ぶ漢字⑤ 植物編 「生・世・葉」（植物の生長）「由・油・宙」（ひょうたんの実）「倍・剖・賠」（熟して割れた果実）など、植物からできた漢字を学びます。	10/9（木）
⑦	成り立ちとつながりで学ぶ漢字⑥ 動物編 「集・雇・焦」（トリ）「突・戻・臭」（イヌ）「羊・善・祥」（ヒツジ）など、動物の体やその習性からできた漢字を学びます。	11/13（木）
⑧	成り立ちとつながりで学ぶ漢字⑦ もの編 「基・旗・期」（ちりとり）「書・画・筆」（ふで）「兆・跳・挑」（亀のこうら）など、道具からできた漢字を学びます。	12/11（木）